

# 秋の虫を探そう！



夏の旅行で見つけた鈴虫を子どもたちのお土産に保育室に持ってきました。しばらくは鳴き声を楽しんだり、乾燥しないように土に霧吹きをしたり、餌をあげたりしていました。

秋の虫 見つけてみよう！と保育室に張り出しました。すると秋の虫を探しにビオトープに行きたい！！となりました

虫かごを持ってビオトープへ出発。しかし、鳴き声は聞こえても姿は見えぬ…バッタやトンボは見つかったけどこれって秋の虫かな？子どもたちの中で鳴かない虫は夏の虫。秋の虫はどこにいるのだろうか？そこで少し見つけやすい場所、園庭に戻って芝生やプランターを探してみると、コオロギを見つけた子が！



そっちにいったからつかまえて！



ピョンピョン とんでっちゃうからりょうてで そっとつかまえよう



コオロギ つかまえた！



異年齢児に見せる子どもたちちょっぴり誇らしげ。



# スイカ割りがしたい！！

9月中旬～

タネから育てたスイカが、大きくなってきた！！スイカ割りができるかなとワクワクしていた子ども達。毎日様子を観察したり水やりをしたり。大きさも野球ボールを超えた頃、悲劇が…なんと重さに耐えられずに落下してしまったのです。そこで、最後の膨らんでいるスイカをどう守るか、子どもたちと話し合い。「スイカの下に箱を置こう」「ぶら下がっているところをテープで貼ってみよう」でも、「箱もテープも雨が降ったら取れちゃうよ」、「カーペットみたいなんで包んだらいいんじゃない？」色々な意見が飛び交います。大事なスイカを守るための真剣な話し合い。「こんなものがあるよ」と提示した中からタオルが選ばれました。子どもたちの楽しみが完結するよう担任もスイカの様子を必死で見守っています。9月末現在でドッジボールくらいのサイズまで成長。あと二週間くらいで収穫ができる見込みです。



収穫を待たずに落下した手乗りメロンとスイカ



水は葉っぱにあげるか？  
土にあげるか？



大事に大事に育てているスイカ。大玉サイズまであと少し。果たしてスイカ割りはできるのでしょうか？